

二〇二二年度法科大学院入学試験問題

小論文

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は一枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒ボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その次のマス目から書き直してください。（余白には書かないで下さい。）修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 解答は横書きで記入してください。
- VI 試験時間は六〇分です。
- VII 問題は八ページで一問です。

問題 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作物の関係上、本文については、ホームページ上での公開および印刷物での配布は行っておりません。

〔片田敏孝『潮 2021年4月号』—「災害は防げない」から始める「心」の防災対策。』（潮出版社、二〇二一年）より〕

〔問〕 頻繁に生じる自然災害を前にして防災の必要性が叫ばれています。問題文を読み、著者の見解を踏まえて防災を考えるにあたって、あなたが重要だと考える視点とその理由を述べなさい。また、同視点を踏まえた具体的な方策について理由を付して述べなさい。（八〇〇字以内）